

全額概算払いを行った理由は

副市長 エバーグリーンとの協議書に基づき実施した。



永池 充宏 議員

サテライトオフィス等開設支援事業について

議員 事業実施前に全額概算払いを行った経緯は、
副市長 エバーグリーンと本市の間で概算払いを行うとの協議を行い、そのことを踏まえ概算払いを実施した。

議員 全額工事着工前に支払ったことが一番の間違ひではなかったのか。
副市長 補助金といえども中身を十分に精査したうえで支出すべきだったと思っている。

議員 補助金をどうして事業主体ではなく工事請

負業者に支払ったのか。

副市長 事業主体のエバーグリーンの依頼に基づいて行った。

議員 工事請負業者が全額前金でない仕事ができないとの条件をのむ形で全額委任払いをしたのではないのか。

副市長 可能性はあるならこの事業を進めるべきだと思っていた。事業者には確認書をとって進めた。

議員 この事業の元請の業者は建設業の許可も持っていないことがあとで分かったが、市として事前に確認し何らかの指導ができなかったのか。
副市長 結果としてこのような状況になったことを議会や市民の皆様にお詫びするしかないと考えていたのか。

議員 限られた工期の中で市は適切な指導を行っていたのか。
地域振興部長 再三指導は行ってきたが事業が前に進まなかった。

議員 今後補助金回収に向けた市の対応は。

地域振興部長 不当利得返還請求事件の提起を進め

訴状の提出を行った。また、刑事告訴も弁護士、警察と協議を進めている。

世界遺産センターについて

議員 事業のスケジュールはどうなっているのか。
教育長 4か月程度の遅れはあるが予定どおりの供用開始を見込んでいる。

議員 施設の運営はどうするのか。
教育次長 指定管理制度での運営を予定していたが、業務委託も含めて現在検討中である。



世界遺産センター建設予定地



質問の様子を動画で見よう

ルイイベント開催状況は。

市長 令和7年3月末で約20kmの供用開始を予定している。また、有家庭運動公園をスタート・ゴールとした市内を周遊するサイクルイベント(シヨートコース53km・ロングコース92km)を開催し、多くの皆様に本市の魅力を知っていただくとともに、サイクリングのまち南島原の認知度の向上を図りたいと考えている。

議員 大亀矢代トンネル、原山交差点、西正寺の拡幅等の進捗状況は。
建設部長 大亀矢代工区は令和9年春頃の完成、原山交差点は用地取得中、西正寺工区は工事着手している、早期完成を進めている状況と聞いている。

議員 大亀矢代トンネルと橋梁の完成で、短縮される時間と総工費は。
建設部長 距離の縮減による単純計算で約3分の短縮と総事業費87億円とされている。

議員 大亀矢代トンネルを生かすため坂下まで橋を整備してもらいたい。
建設部長 県としては整備の必要性や優先度について市と意見交換したいと回答をいただいている。

議員 自転歩行者専用道路とイベントについて
議員 自転車道とサイクル

議員 自転歩行者専用道路とイベントについて



自転車歩行者専用道路

補助事業を活用し、健康づくりのデジタル化は

福祉保健部長 交付金事業で対応できないか確認していきたい。



末統 浩二郎 議員

サテライトオフィス事業の検証について

議員 内部調査委員会・公益通報要綱は。

市長 内部調査委員会を設置し協議中。第三者委員会を設置し、再発防止の徹底を。
総務部長 内部調査委員会は3回開催し、結果を取りまとめている。公益通報要綱は4月1日施行に向け準備中。

議員 第三者委員会の必要性は。
市長 今後の市政推進のあり方を協議してもらい、それに従って行政運営を

行うこととなる。

緊急防災・減災対策事業について

議員 当該事業は令和7年度までの事業だが、検討内容は。
総務部長 体育館への空調設備の導入は重要な施策。空調設備の導入を検討中。

議員 国土強靱化対策でも体育館への空調設備導入を推進している。当該事業を活用し導入の考えは。
総務部長 当該事業の対象範囲など検討していく必要がある。

職場における勤務環境の改善について

議員 市民参加を求める事業へのDX導入は。
総務部長 市民の利便性向上のためDX推進を実施。イベント等の申し込みはオンラインで可能であり、より簡素化を図り活用推進に取り組む。

議員 ハラスメントに関する調査を実施しては。

総務部長 職場のハラスメントは、業務効率の低下を招き住民サービスの低下につながる。職員へのアンケートは重要な取組と認識しており実施を検討していきたい。

議員 対策のためには実情の把握が大切。職員が相談しやすい体制づくりを。
総務部長 ハラスメント防止のため種々の情報を収集し対応したい。

市民の健康増進について

議員 市の取組状況は。
福祉保健部長 健康づくりポイント事業、温水プール助成、講話・運動指導、県アプリの推進など。

議員 市内事業所が行う筋力アップ運動のポイント化は。
福祉保健部長 ジム等の参加も健康づくり。ポイント導入に対応したい。



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

議員 できるだけ早い着工をしていただきたい。次に、堂崎陣之内下藤原線(堂崎木場)は未着工であるが。
建設部長 令和4年度に一部側溝を改修。予算の状況を見ながら随時整備を実施していきたい。

サテライトオフィス事業について

議員 第三者委員会が設置されるとのことだが、そのメンバーは。
総務部長 5名以内ということで規定しており、現段階では弁護士及び税理士の3名の委員を検討している。

議員 5名以内なら5名もいということだから、県警を入れることはできないのか。
総務部長 委員の選任が、本件と利害関係を有していないものから選ぶなどしている。警察関係はあまり適当ではないと考え。第三者委員会の目的は、今回の補助金の事務

議員 令和7年度に着工することだが、その辺の予定は。
建設部長 目標は、7年度の第一四半期、早いうちに発注をかけるような

議員 令和7年度に着工することだが、その辺の予定は。

宮ノ下白崎線の白崎島田線の早期舗装着工は

市長 令和7年度の完成を予定している。



松永 忠次 議員

市内道路の整備について

議員 市道改良事業で、宮ノ下白崎線の白崎島田線の早期舗装着工の考えはないのか。
市長 今年度測量設計を行い、整備工事の準備を進めているところ。3月中に地元自治会及び関係事業所に工事説明会を実施する。令和7年度内の完成を予定している。

議員 令和7年度に着工することだが、その辺の予定は。
建設部長 目標は、7年度の第一四半期、早いうちに発注をかけるような

議員 令和7年度に着工することだが、その辺の予定は。

処理等について調査検討及び評価をいただき、事務手続きがどうだったのかということに限定している。
議員 最後に、いろいろな諸問題が山積している。市長、副市長!この南島原市民4万5855名は、この「南島原松本丸」に乗船している。羅針盤の方向をどう行くのか、どう進むのか、本人自身はどう進むのか、これは全員で考えないといけない。市職員交えて、我々も良くなる市にする責任がある。そのための羅針盤である。方向を間違えれば座礁する。不透明な予算とか、大型事業とか、何を考えているのか。松本丸は。

市長 市の将来に向けて、大事な方向を決めるトップにいますという事は理解している。

